

# 常磐公園自然新聞

私たち、常磐公園の自然について調べました。この公園には、自然に関する「すごいところ」がたくさんありました。この新聞にはその「すごい」が、たくさん詰まっています！これから、特に「すごい」と思った「天皇陛下皇后両陛下来道植樹記念碑」「植樹寄贈碑」「きれいな景色」について説明します。なお、それらの場所は左の地図でご確認ください。



【「常磐公園マップ」 公益財団法人 旭川市公園緑地協会HPより】

附属旭川小学校  
4年1組  
自然グループ制作

発行日  
2021年12月24日

## 天皇皇后両陛下来道植樹記念碑

常磐公園の中島には、「天皇皇后両陛下来道植樹記念碑」(写真①)があります。昭和二十九年八月に、昭和天皇が旭川に来られました。この碑は、そのことを記録に残すためのものです。天皇陛下が来たことを記念して植樹した木のそばにこの記念碑はあります。ではなぜ常磐公園に置かれたのでしょうか。それは、昔はたくさんの人たちが常磐公園を利用していたからです。写真②は昭和三十六年の常磐公園の様子です。この写真から、普段から多くの人たちがこの公園を利用していたことが分かります。この碑を設置した人は、「昭和天皇が来たことを永久に記念したい」という願いをもつてたそうですね。だから、市民に親しまれている常磐公園に設置したのではないでしょうか。



【写真② 昭和36年の常磐公園の様子 旭川市中央図書館所蔵】

## 常磐公園のきれいな景色

常磐公園の景色はとても美しいです。秋になるとイチョウの木が紅葉します(写真③)。私たちはカラフルな色になるこの常磐公園が大好きです。この公園を設計した人は、星野 勇三(ほしの ゆうぞう)さんです。星野さんは、日本の農学者でした。札幌の大通り公園の花壇も設計しています。常磐公園には、約二千六百本もの木があると言われています。星野さんははじめ、昔の人たちは、常磐公園に木を植えて、この場所を安らぎの空間にしたかったと考えられます。



【写真③ イチョウの木(秋)】

## 編集後記

私たち、常磐公園についての学習をするまでは、すごいところがあまりない、ただ単に広い公園だと思っていました。しかし、調べていくうちに、常磐公園の印象が大きく変化しました。それは、すごいところがたくさんあることに気が付いたからです。

私たち特に「天皇皇后両陛下来道植樹記念碑」が一番心に残りました。なぜ、この石碑だったのかというと、この碑について調べていくと、公園に天皇皇后両陛下が来旭したことを見ると、この碑が植えられたことが分かったからです。そのときはとても驚きました。そして、このことがきっかけとなり、「常磐公園はすごい公園」と思うようになりました。

常磐公園は自然豊かな公園です。「ここに来ると心が安らぎます。気持ちをリフレッシュすることができます。でも、それは、昔の人たちが「自然豊かな公園にしたい」という願いをもって、この公園を作ったからなのです。百年以上この場所にある常磐公園は、多くの人たちが大切にしてきた公園です。またいろいろな人たちの「思いや願い」が詰まった公園です。私たちは、この公園をいつまでも大切にしていきたいと思っています。

昔、常磐公園で登喜和園という料理店を経営していた石田啓治(いしだ けいじ)さん(写真④)という人がいました。石田さんは、松の木十本、楓の木十二本を旭川市に寄贈しました。寄贈した木は常磐公園に植えられたそうです。写真⑤の「樹木寄贈碑」には、石田さんが木を寄贈したことが書かれています。この碑の近くに、それらの木が植えられたと言わっています。石田さんの料亭も、この碑の近くに建てられていました。石田さんは、ここから見えたからなのかも知れません。常磐公園に来たときは、中島にあるこの記念碑を見てください。昔の公園の様子を想像できると思います。

天皇陛下が旭川市に来たということはすごいことだと思います。また、来旭を記念して常磐公園に木を植えていたことも驚きます。常磐公園が自然豊かなのは、昔の人たちが、いろいろなことを記念して、この公園に木を植えていたからなのです。だから、市民に親しまれている常磐公園に設置したのではないかと想像できます。

ここからは、千鳥ヶ池を見る事ができます。またイチョウの木もたくさんあります。石田さんは、ここから見える景色が好きだったので、ここに料亭を建てたのかもしれないそうです。

ここには景色が美しく、石田さんの思いを想像できる私たちのお気に入りの場所です。ですから、みなさんも、是非、ここで足を運んでみてください。そして、石田さんがどのように足を運んでみてください。そして、石田さんがどのような景色が好きだったので、ここに料亭を建てたのかもしれないかもしれません。

ここは景色が美しく、石田さんの思いを想像できる私たちのお気に入りの場所です。ですから、みなさんも、是非、ここで働いていたのかを想像してみてください。

【写真④ 石田啓治】北海タイムズ 昭和34年7月28日より

【写真⑤ 樹木寄贈碑】